

令和8年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和8年2月16日

上場会社名 夢みつけ隊株式会社
 コード番号 2673 URL <http://www.steilar.com/company/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 佐々木 ペジ
 問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務担当 (氏名) 小林 紀俊
 配当支払開始予定日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-6635-1791

(百万円未満切捨て)

1. 令和8年3月期第3四半期の連結業績(令和7年4月1日～令和7年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
8年3月期第3四半期	238	29.1	8		120	64.9	121	68.0
7年3月期第3四半期	184	62.3	12		73	51.8	72	46.0

(注)包括利益 8年3月期第3四半期 325百万円 (%) 7年3月期第3四半期 41百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
8年3月期第3四半期	12.05	
7年3月期第3四半期	7.18	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
8年3月期第3四半期	3,576	2,750	76.9	271.86
7年3月期	3,298	2,425	73.5	239.71

(参考)自己資本 8年3月期第3四半期 2,750百万円 7年3月期 2,425百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
7年3月期		0.00		0.00	0.00
8年3月期		0.00			
8年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和8年3月期の連結業績予想(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	280	11.5	10		160	74.3	160	76.8	15.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	8年3月期3Q	10,458,000 株	7年3月期	10,458,000 株
期末自己株式数	8年3月期3Q	341,300 株	7年3月期	341,300 株
期中平均株式数(四半期累計)	8年3月期3Q	10,116,700 株	7年3月期3Q	10,116,700 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	1
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	2
(1) 四半期間連結貸借対照表	2
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、訪日外国人の増加を背景としたインバウンド消費の回復や、雇用・所得環境の改善により、景気は緩やかな緩やかな回復基調が続きました。一方で、継続する物価上昇や米国の通商政策、地政学的リスクの高まり等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループ(当社及び連結子会社)は、引き続き財務体質強化に注力してまいりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

① 通販小売事業

通信小売事業においては、カタログの種類を絞った上でコンスタントに発行し、経費の削減を行い、安定して利益を確保できる事業を目指しております。

以上の結果、通販小売事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は100百万円(前年同四半期比13.4%減)となり、セグメント利益は15百万円(前年同四半期比8.4%減)となりました。

② 不動産事業

不動産事業においては、販売用不動産の売却を行うとともに所有する不動産の賃貸を行っております。当第3四半期連結累計期間において、販売用不動産の売却を行ったため、前第3四半期連結累計期間と比較して売上高およびセグメント利益が増加しました。

以上の結果、不動産事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は93百万円(前年同四半期比274.4%増)となり、セグメント利益は35百万円(前年同四半期比169.2%増)となりました。

③ 介護事業

ライフステージ株式会社では、介護施設を運営し、デイサービスを行っております。引き続き、売上高の増加を目指し、利用者数増加のための営業活動の活性化、利用者へのサービス向上の取組みを進めております。

以上の結果、介護事業の売上高は44百万円(前年同四半期比2.5%増)となり、セグメント損失は1百万円(前年同四半期はセグメント損失3百万円)となりました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は238百万円(前年同四半期比29.1%増)、営業利益は8百万円(前年同四半期は営業損失12百万円)、経常利益は120百万円(前年同四半期比64.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は121百万円(前年同四半期比68.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ277百万円増加し、3,576百万円となりました。主な要因は、関係会社株式の増加であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ47百万円減少し、826百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ325百万円増加し、2,750百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、令和7年5月20日に公表いたしました通期の連結業績予想を変更しております。

詳細につきましては、本日(令和8年2月16日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和7年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,207	27,775
受取手形及び売掛金	11,322	13,280
商品	10,802	15,181
販売用不動産	711,732	671,031
その他	3,082	4,665
貸倒引当金	△892	△915
流動資産合計	773,254	731,019
固定資産		
有形固定資産		
建物	90,343	90,343
減価償却累計額	△45,504	△45,504
減損損失累計額	△44,839	△44,839
建物(純額)	0	0
車両運搬具	16,654	16,654
減価償却累計額	△16,654	△16,654
減損損失累計額	△0	△0
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	14,515	14,515
減価償却累計額	△12,195	△12,195
減損損失累計額	△2,320	△2,320
工具、器具及び備品(純額)	0	0
機械及び装置	28,204	28,204
減価償却累計額	△15,358	△15,358
減損損失累計額	△12,845	△12,845
機械及び装置(純額)	0	0
有形固定資産合計	0	0
投資その他の資産		
投資有価証券	2,200	2,200
関係会社株式	2,491,992	2,811,039
繰延税金資産	-	1,267
その他	31,486	31,126
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,525,679	2,845,633
固定資産合計	2,525,679	2,845,633
資産合計	3,298,934	3,576,653

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和7年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,121	5,815
短期借入金	347,714	321,119
1年内返済予定の長期借入金	29,765	45,103
未払金	44,104	38,054
その他	83,884	86,939
流動負債合計	508,590	497,032
固定負債		
長期借入金	333,000	296,995
繰延税金負債	609	-
その他	31,401	32,011
固定負債合計	365,011	329,006
負債合計	873,601	826,039
純資産の部		
株主資本		
資本金	534,204	534,204
資本剰余金	268,471	268,471
利益剰余金	1,609,537	1,812,473
自己株式	△117,739	△117,739
株主資本合計	2,375,473	2,497,409
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,502	256,568
退職給付に係る調整累計額	△3,949	△3,672
その他の包括利益累計額合計	49,552	252,896
非支配株主持分	307	306
純資産合計	2,425,332	2,750,613
負債純資産合計	3,298,934	3,576,653

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)
売上高	184,815	238,552
売上原価	64,033	99,203
売上総利益	120,782	139,349
販売費及び一般管理費	133,570	130,745
営業利益又は営業損失(△)	△12,788	8,603
営業外収益		
受取利息	5	32
受取配当金	0	0
持分法による投資利益	92,461	119,685
償却債権取立益	1,813	-
その他	976	1,816
営業外収益合計	95,257	121,535
営業外費用		
支払利息	9,154	9,562
その他	204	-
営業外費用合計	9,359	9,562
経常利益	73,109	120,576
税金等調整前四半期純利益	73,109	120,576
法人税、住民税及び事業税	488	517
法人税等調整額	27	△1,877
法人税等合計	515	△1,359
四半期純利益	72,594	121,936
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	72,594	121,936

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)
四半期純利益	72,594	121,936
その他の包括利益		
持分法適用会社に対する持分相当額	△113,818	203,343
その他の包括利益合計	△113,818	203,343
四半期包括利益	△41,224	325,280
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△41,224	325,280
非支配株主に係る四半期包括利益	-	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	通販小売事業	不動産事業	介護事業	
売上高				
一定時点で移転される財	53,300	-	43,778	97,078
一定の期間にわたり移転される財	62,895	-	-	62,895
顧客との契約から生じる収益	116,195	-	43,778	159,973
その他の収益	-	24,842	-	24,842
外部顧客への売上高	116,195	24,842	43,778	184,815
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	116,195	24,842	43,778	184,815
セグメント利益又はセグメント損失(△)	17,056	13,347	△3,592	26,811

(注) 「その他の収益」は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	26,811
全社費用(注)	△39,599
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△12,788

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	通販小売事業	不動産事業	介護事業	
売上高				
一定時点で移転される財	54,913	57,059	44,889	156,863
一定の期間にわたり移転される財	45,729	-	-	45,729
顧客との契約から生じる収益	100,643	57,059	44,889	202,592
その他の収益	-	35,959	-	35,959
外部顧客への売上高	100,643	93,019	44,889	238,552
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	100,643	93,019	44,889	238,552
セグメント利益又はセグメント損失(△)	15,623	35,928	△1,631	49,919

(注) 「その他の収益」は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	49,919
全社費用(注)	△41,316
四半期連結損益計算書の営業利益	8,603

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)
減価償却費	-千円	-千円

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において、営業損失を計上するとともに、重要なマイナスの営業キャッシュ・フローを計上し、引き続き中間連結会計期間も、マイナスの営業キャッシュ・フローを計上しております。

これらの状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべく、以下の対応策を講じております。

① 売上高の確保、営業黒字化

- ・通販小売事業におきましては、リニューアルを行った通販カタログを発行することにより、安定した利益を確保できる体制を構築します。
- ・不動産事業におきましては、固定経費の削減を進めるとともに、物件売却を進めて参ります。
- ・介護事業におきましては、営業活動を活性化し利用者増加を進めて参ります。
- ・上記の活動に加え、引き続き固定経費の削減を継続した上で、中長期的に売上高の維持拡大と安定的な営業利益を確保できる体制を整えて参ります。

② 資金の確保

- ・当社では、過去にも十分な実績があることから、保有する資産の担保提供による取引先金融機関からの十分な資金調達が可能であると判断しております。
- ・緊急の資金需要が発生した場合には、社長が議決権の過半数を保有している会社等からの借入を行うことが可能です。

これらの対応策を実施することにより、当社は、継続企業の前提に重要な不確実性は認められないものと判断しております。